



生活物資 ドローンが運ぶ

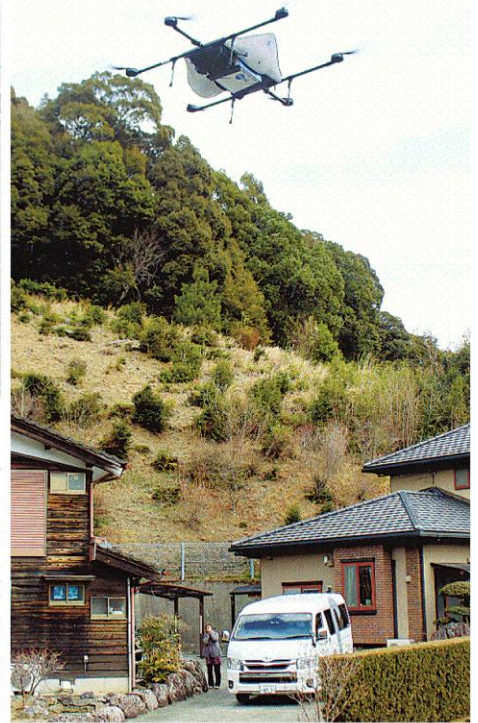
佐伯 宇目で実証実験

【佐伯】佐伯市宇目で13日、共同配送とドローンで物資を運ぶ実証実験があった。環境省の委託事業で、脱炭素化や省人化による人手不足対策、過疎地域の買い物支援―など、持続可能な物流網の構築につなげよ

うというもの。実証実験にはトラックとドローンを利用したスマート物流を進めるネクストデータリバリー（山梨県小菅村）を中心に、物流大手のセイノーホールディングス（岐阜県大垣市）、コープおお



集まった荷物をドローンに積み込む関係者＝佐伯市宇目保健センター前



実証実験で自宅前に荷物を運ぶドローン＝佐伯市宇目南田原

いた、大分県、佐伯市などが参加した。

実験は宇目保健センター前を地域の荷物集約所とし、2社のトラックから配送先の個人宅向け荷物にまとめ、ドローンに搭載して運ぶ―といった流れ。ドローンは着陸時の微調整以外は全自動で、5キロほど離れた宇目南田原地域まで無事に荷物を届け、再び空路で同センターに戻った。

自宅前で荷物を受け取った矢野美代子さん(72)は「いつまで運転できるか分からない。日用品はもちろん、薬などもドローンで運んでくれたらありがたい。災害時にも役立つ」と地域での実現に期待を寄せた。

(安部亮)

〔問①〕ドローンで物資を運ぶ今回の実験では、何キロ離れたところまで荷物を届けましたか。

5キロ

〔問②〕この実験で実現したいことの目的は何ですか。

脱炭素化、省人化による人手不足対策、過疎地域の買い物支援

〔問③〕ドローンを使って実現できることはほかにどんなことが考えられますか。

自由記述